

## 早稲田大学オープンアクセス方針実施要領

### (趣旨)

早稲田大学（以下、「本学」という。）は、「学問の独立」、「学問の活用」および「模範国民の造就」の建学理念に則り、学問の使命に対する高い理想を持ち、人類の福祉と世界平和に貢献することを目的として研究活動を推進してきた。本学は、上記の理念を踏まえ、本学で生み出された研究成果を学内外に広く公開することを通じて、学術研究の更なる発展と豊かな人類社会の実現に寄与することを目的として、オープンアクセスに関する方針を以下のとおり定める。

### (1) オープンアクセス (OA)

オープンアクセスとは、論文等の研究成果をオンライン上で、誰もが無料で閲覧できるようにすることである。オープンアクセスには、主に「グリーン・オープンアクセス (グリーン OA)」および「ゴールド・オープンアクセス (ゴールド OA)」の2つの方法がある。

#### 1) 「グリーン・オープンアクセス (グリーン OA)」

論文等の研究成果を、著者自身でオープンアクセスリポジトリにアーカイブし、無料で閲覧できるようにすること (セルフアーカイブ)。オープンアクセスリポジトリには、研究者所属機関がホストする「機関リポジトリ」や、著者の研究分野で広く認知されている「分野別リポジトリ」、研究分野を限定しない「汎用リポジトリ」などがある。

#### 2) 「ゴールド・オープンアクセス (ゴールド OA)」

論文等の研究成果を、出版社が管理するウェブサイト等を通じて無料で閲覧できるようにすること。多くの場合、論文著者による論文単位での Article Processing Charge (APC) の支払いが必要となる。ゴールド OA に対応するジャーナルには、以下の種類がある。

#### <フル OA ジャーナル>

すべての論文がオープンアクセスとして出版されるオープンアクセスジャーナル。論文出版時に APC 支払いが必要となるが、購読料は発生しない。

#### <ハイブリッド・ジャーナル>

論文出版時に APC を支払った論文のみをオープンアクセスとするジャーナル。購読料が発生するが、一部のジャーナルでは購読料と APC を一体化して機関契約する転換契約

(Read & Publish 契約など) を提供しており、購読機関がオープンアクセス推進のために転換契約を結んでいる場合、著者の APC の支払い負担が減じられることがある。

この他、雑誌を出版する学協会等が APC 等の諸費用をすべて負担してオープンアクセス化する場合があります、ダイヤモンド・オープンアクセスと呼ばれる。

なお、オープンアクセスの各種別に関する詳細は、今後本学図書館ウェブサイトや「WASEDA Research Portal」等を通じて、周知する。

#### (研究成果の公開)

本学は、本学の研究者等の論文等の研究成果（以下、「研究成果」という。）を、「早稲田大学リポジトリ」またはその他研究者等が選択する方法によって、可能な限り公開する。

#### (1) 研究者等

「研究者等」とは、原則、以下の者をいう。

- 1) 研究活動を行う本学の常勤および非常勤の教員、研究員および職員
- 2) 研究活動を行う本学の学生
- 3) 研究費または本学の施設もしくは設備を利用して研究活動を行う者で上記 1)、2) 以外の者

#### (2) 「早稲田大学リポジトリ」

「早稲田大学リポジトリ」(<https://waseda.repo.nii.ac.jp/>) は、本学が提供する機関リポジトリ。学術研究の一層の振興に貢献することを目的として、学術情報資源を電子的形態で収集、蓄積し、ウェブサイトを通じて国内外に広く無償で提供するシステムである。

#### (3) 著作権の移転について

早稲田大学リポジトリを用いて研究成果を公開する場合でも、著作権は本学に移転しない。その他研究者等が選択する方法によって公開する場合には、公開先のリポジトリの規定に拠る。

#### (適用の例外)

著作権等のやむを得ない理由により、「早稲田大学リポジトリ」による公開が不適切である場合、本学は当該研究成果を公開しない。

#### (1) 著作権等のやむを得ない理由

共著者の合意を得られていない場合、出版社による許諾を得られていない場合、その他論文等の研究成果の公正性に疑義等が生じている場合などが考えられる。

(適用の不遡及)

本方針施行以前に出版された研究成果や、本方針施行以前に本方針と相反する契約を締結した研究成果には本方針は適用されない。

(1)適用範囲について

本方針は、本方針の施行日以降の研究成果を対象とするが、著者の希望に応じて、本方針施行日以前の研究成果についても、リポジトリにおける公開を受け付ける。

(リポジトリへの登録)

本学の研究者等は、「早稲田大学リポジトリ」で研究成果を公開する場合、できるだけ速やかにリポジトリ登録が許諾される適切な版を本学に提供する。リポジトリへの登録、公開等のリポジトリに関する事項は、本学図書館が別途定めるリポジトリの運用指針や内規等に基づき取り扱う。

(1) 登録するタイミングについて

出版社によっては、出版後一定期間リポジトリでの公開を禁止（エンバーゴ）している場合があるため、エンバーゴ期間の終了後にリポジトリへの登録を行うものとする。

(2) リポジトリ登録が許諾される適切な版

出版社が認める場合、「出版社版」をリポジトリに登録する。ただし、「出版社版」の登録が認められていない場合には、「著者最終稿」をリポジトリに登録する。なお、その他の著作権者（共著者や出版者等）がいる場合には、予めリポジトリ公開の許諾を得るものとする。

(その他)

本方針に定めるもののほか、オープンアクセスに関し必要な事項は、関係者間で協議して定め、適切に周知する。

(1)その他

本方針に定めのない事項やその他のオープンアクセスに関し必要な事項は、別途関係者間で協議して定めるものとする。また、オープンアクセスの実施に関する詳細は、今後本学図書館ウェブサイトや「WASEDA Research Portal」等を通じて、周知する。

以 上